

# つなごうハーモニー、その先へ

## 魅了する3団体 響け、とどけ。

男声合唱団ZEN(長野)

上智大学グリークラブOB合唱団

男声合唱団東京リーダーターフェル1925



男声合唱団 ZEN

指揮 宮下荘治郎、ピアノ 小林夏実



Requiem (抜粋)

I Introit et Kyrie  
V Agnus Dei  
VII Libera me et Antiphona

作曲 鈴木憲夫



上智大学グリークラブ OB 合唱団

指揮 篠崎新一

イタリア愛唱曲集

Signore Delle Cime  
Fiore di Manuela  
Mama, Piero me toca  
Deus ti Salvat Maria  
Fratello Sole Sorella Luna  
Bènia Calastoria



男声合唱団東京リーダーターフェル 1925

指揮 樋本英一、ピアノ 赤塚伸子



男声合唱組曲 沙羅

詩 清水重道、作曲 信時潔、編曲 木下保

ZEN SOPHIA CLUB M.G.V. 合同演奏

指揮 宮下荘治郎 篠崎新一、ピアノ 小林夏実 赤塚伸子

男声合唱アラカルト集

Stand Alone ~NHKスペシャル「坂の上の雲」より~ ソプラノ 田口美月

いのちの歌 以上2曲、編曲 宮下荘治郎

箱根八里

浜辺の歌

早春賦 以上3曲、編曲 林光



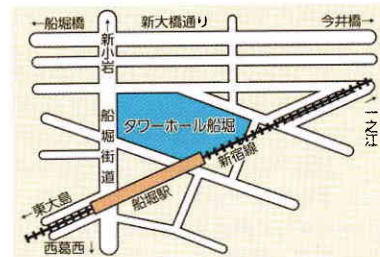
### 2024年7月27日(土)

14:30開演(14:00開場)

入場料:1,000円(全席自由)

### タワーホール船堀 5階 大ホール

(地下鉄 都営新宿線「船堀」駅下車 徒歩 1分)



お願い

- タワーホール船堀の感染症対策を遵守し、皆様のご来場をお待ちしています。
- 演奏会当日、高熱など体調不良の場合は、入場をご遠慮願います。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

# 今回の ジョイント コンサート 開催への想い

高齢化とコロナ禍での団員減少の歯止めのために「団員獲得プロジェクト」としてできることは何かと考えた時、常に活動している団体であることを内外に PR できれば少しでも団員を増やせるのではないかと、演奏会を増やす事によって団員間に熱気を吹き込むことができるのではとの思いがあった。

そして故・宮田元会長のジョイントコンサートへの思い入れ（特に長野の ZEN との開催）、2014 年以來となる地方演奏旅行とその時の恩返し（山形のデザミ・アンティムと酒田メンネルコール）ができればという私の勝手な思い入れ（今回は実現できませんでしたが）、団員の出身大学の OB 合唱団という色合いの異なる団との交流（上智大学グリークラブ OB 合唱団など）、団員が掛け持ちで活動している団との交流など。いろいろな思いが交錯したなか、皆様のご協力によって今回のジョイントコンサートが開催できる事になりました。

男声合唱の灯を消すな！「つなごうハーモニー、その先へ」

（ジョイントコンサート実行委員会 東京リーダーターフェル 1925 湊谷和典）

## 男声合唱団ZEN

男声合唱団ZENは、長野市に本拠地を置き、名称は善光寺にちなんでいます。

2003年初代会長が『オヤジ達が大声で歌って、平成不況を吹き飛ばし、長野に元気を呼び起こそう！』と長野市の有志を誘い発足したことが始まりで、多くの地元経営者をはじめ、多岐にわたるメンバーが集まりスタートしました。

合唱経験の少ない団員でありながら、当時は若さもあり、恥を恐れず歌い続け、気が付くと、発足から20年が経ちました。この間、国内ではサントリーホールで『男だけの第九』に出演。また、『般若心経』などの委嘱曲の発表等、多くの演奏会に出演し、経験を積み、度胸を付け、そして他団体との交流を深めて参りました。

幸運にも熱意のある指導者宮下荘治郎氏（当時、長野市の校長先生）にも恵まれ、スキルの向上も進み、昨年の第10回演奏会では、鈴木憲夫『Requiem』の男声合唱版を委嘱し、初演致しました。

コロナ下で進んでいた団員の減少は最近若手の入団もあり、回復傾向になっています。これからも意欲的にいろいろなジャンルに目を向け、さらなる挑戦をし、さらなる社会貢献も含めた活動をして行くことを、団全体の大きな考え方として取り組んでいきたいと思っています。田口美月さんには今後2年間副指揮者としてご指導頂く予定ですが、本日は合同ステージでソプラノソロを演奏して頂きます。

今回の3団体によるコンサートは、私共にとって21年目のスタートとなる貴重な経験で有り、大いに楽しみなことであります。この企画をリードして頂きました東京リーダーターフェル1925の皆様へ深く感謝致しております。



©善光寺

## 上智大学グリークラブOB合唱団

上智大学グリークラブは、東京四谷の上智大学の男声合唱団として、創部70年を数える学内でも伝統のある音楽団体です。OB会は、現役の支援活動の一環として、節目にあたる記念演奏会での現役との合同演奏等の企画を実施するため、周年の都度、参加メンバーを募って演奏会に参加してきました。

かねてより大学における「合唱離れ」が進む中、15年前の2009年6月開催の「グリークラブ創部55周年記念演奏会」を契機に、現役支援の充実や合唱の質的向上のために、常設のOB合唱団の設置が必要と考え、本演奏会の参加メンバーを中心に、同年7月、太田務先生を常任指揮者にお迎えして再結成され、現在に至っております。

以来、第60回、65回、70回の記念定期演奏会への参加を始め、OB合唱団単独の活動である Concert2011、2015、2017の開催や、南山大学メルクワイヤーOB、新月会（関西学院大学グリークラブOB）等友好団体とのジョイントコンサートの共催、その他、学内のイベントに現役と一緒に協力する等、活動の幅を広げました。

その間、2020年春からのコロナ禍による演奏会活動の休止や練習の制約を乗り越え、一昨年2022年11月の現役第73回定期演奏会への賛助出演、次いで昨年4月に単独演奏会 Concert2023を開催する等、本格的に活動を再開し、今に至っております。これからは音楽面や運営面で現役部員を支える一方で、独立した合唱団として、他の合唱団体に負けないよう、演奏の質の維持・向上に努めてまいります。

本演奏会では、当団の発足時から団内指揮者として音楽作り、声作りに取り組んできました篠崎新一氏が単独演奏および合同演奏の後半の指揮を務めさせていただきます。これまで培ってきた私達の音楽を皆様にお届けしたいと思います。



## 男声合唱団東京リーダーターフェル1925

東京リーダーターフェル1925(TLT)は、東京都を本拠地とする男声合唱団。社会人をメンバーとする男声合唱団としては、国内で最も長い歴史をもつ団体で、2025(令和7)年には創立100周年を迎える。1925(大正14)年に同志社グリークラブ7代目指揮者であった山口隆俊が、戦場の仲間秋山日出夫(後の全日本合唱連盟副理事長)らを募って設立。日本唯一のドイツ合唱連盟海外会員として活躍し、1968年以降演奏旅行に6回訪独した。1971年には全国の男声合唱団に呼びかけて日本男声合唱協会(JAMCA)を設立。1985年からは日韓親善男声合唱演奏会を東京・ソウルで交互に開催、2023年には第13回演奏会を東京で開催した。

TLTの団員からは、東辰三(1900-1950)、三木稔(1930-2011)といった著名な作曲家も輩出している。2002年に樋本英一氏が常任指揮者に就任。2021年より佐藤洋人氏に指揮を依頼し、2名体制となる。上智OBの団内指揮者篠崎新一氏は現在TLTでも副指揮者を務めており、本日は二刀流での登壇となります。

団創設時から「演奏活動を通じ男声合唱を広く普及し、日本の音楽文化の興隆と発展に寄与すること」を目的とし、次の三点を軸として活動している。

- 日本の男声合唱曲および世界の合唱曲などを主に、質の高い演奏を通じ広く男声合唱を普及する
- 海外合唱団との交流を通じ国際交流を深めるとともに、日本音楽を世界に紹介する
- 邦人作曲家へ意欲的に委嘱することを通じ、良質な男声合唱曲を増やすとともに後世に伝える

活動メンバーは、現在約65名。今年11月10日(日)には、すみだトリフォニーホールで定期演奏会を開催予定。

